

工業会活動

ICCAIA秋期ボードミーティング

ICCAIAの2023年度秋期ボードミーティングは10月11日にWEB方式で開催され、専務理事が参加し小職も同席した。この会議ではICCAIAの予算について議決を行ったほか、ICCAIAのICAO駐在員の活動報告等が行われた。以下、会議のアジェンダ項目に沿って概要を報告する。

アジェンダ項目1 オープニング

現在のICCAIA議長であるAIA（米国航空宇宙工業会）専務理事のEric Fanning氏より、参加者の確認が行われ議事が開始された。参加者は、議決権を有する正式メンバーのAIA、ASD（欧州航空宇宙工業会）、AIAC（カナダ航空宇宙工業会）、AIAB（ブラジル航空宇宙工業会）及び日本航空宇宙工業会（SJAC）であり、議決権を持たない準メンバーのFEMIA（メキシコ航空宇宙工業会）、AIAS（シンガポール航空宇宙工業会）、MAIA（マレーシア航空宇宙工業会）、CSAA（中国航空学会）であった。

アジェンダ項目2 前回のボードミーティング（2023年3月21日開催）の議事承認

前回のボードミーティングでの主な議決事項は、ICCAIAのICAO駐在の機能強化についてのビジネスプランであった。詳細はSJAC会報2023年6月号（第834号）を参照されたい。

アジェンダ項目3 ICCAIAのICAO駐在の活動報告

現在の駐在である、Dan Carnelly 氏とNina Brooks女史より報告が行われた。活動実績の報告は、2022年9月開催のICAO（民間航空機関）第41回総会での活動とそのフォローアップ、環境関係での各種ICAOでの打合せの対応、ICAOの定例会出席などであった。2023/2024に向けての主な取組予定は、ICCAIAの5years Strategyの見直し、ICAOに関連する各種会合への出席、ICAO駐在の機能強化等であった。

アジェンダ項目4 2022/2023年度会計報告

合計で48,790-（CAN\$）の赤字であった。当初予算は約47,000（CAN\$）の赤字であり、計画通り余剰金より補填することとした。なお、ICCAIAの会計年度は10月から翌年9月となっている。

アジェンダ項目5 2024年5月のICCAIA総会について

カナダ法によりボードミーティング以外に総会を開催することが求められている。2024年5月に総会を開催することで調整をおこなうとともに、ICCAIAの幹部が総会のためにICAOのあるモントリオールに集まる機会を利用してICAO関係者へ技術部門を中心とした説明会やICAO幹部を交えての懇親会を計

画することとした。

アジェンダ項目6 2023/2024年度予算

ICCAIAのICAOでの機能拡大のために予算規模の拡大が求められている、ICCAIAの在外公館として登録する手続きを進めることでモントリオール市より補助金が支給されるが、その補助金でまかなえない分については、AIA/ASD/AIAB/AIACで負担することとなった。なお、SJACは増額分を負担せず現状のままとした。

アジェンダ項目7 その他

ATAG (Air Transport Action Group) において、ICCAIAはオブザーバーとして参加することが承認された。

注記：ATAGは、航空輸送バリューチェーンのあらゆる部分の関係者や専門家を結集する非営利団体であり、現在の使命は、2050年までに航空輸送における炭素排出実質ゼロに向けて業界を推進することである。(ATAGホームページより抜粋)

所感

ICCAIAのICAO駐在員の機能強化により、民間航空における様々な情報の入手も強化される。このような情報を会員各位と適切に共有していくとともに、日本の産業界の声を発信していく取組も強化していきたい。各位の引続きのご支援やご協力をお願いします。

[(一社) 日本航空宇宙工業会 国際部 部長 羽中田 実]